

自民党

自民党員を募集しています！詳しくはスタッフまで！

自由民主党衆議院議員【埼玉3区（草加市・越谷市）】

新型コロナウイルス感染症に係る国の対応等

シリーズ：自立と誇りある日本

Society 5.0時代に生きる子供たちのために「GIGAスクールの実現」

きかわだステーション



第73号

きかわだひとしFBはこちら！友達募集中！↑↑↑

衆議院議員黄川田仁志事務所発行 電話 048-933-0591

自立と誇りある
日本をつくり
ます**新型コロナウイルス感染症に係る国の対応等について**

自由民主党衆議院議員の黄川田仁志です。地域の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症について、大変心配されていることと思います。

国は、新型コロナウイルス感染症を感染症法に基づく指定感染症及び検疫法に基づく検疫感染症に指定し、その施行を前倒して2月1日からとしました。これにより、日本国内では、患者に対する入院措置や公費による適切な医療の提供が行われます。また、日本に入国しようとする人が感染者である場合、入管法の規定により入国を拒否します。同時に、感染が確認できない場合でも、入国管理を大幅に強化しています。特に、無症状にもかかわらずウイルスの陽性反応が出た人がいるという事実を踏まえ、水際対策の実行性を一層高め、感染拡大の防止に万全を期すため、当分の間、入国の申請日前14日以内に中国・湖北省の滞在歴がある外国人又は湖北省発行の中国旅券を所持する外国人は、特段の必要がない限り、入管法に基づいてその入国を拒否することになりました。また、外務省は1月21日に中国全土を感染症危険情報レベル1（注意喚起）、24日に湖北省をレベル3（渡航中止勧告）に引き上げました。皆様には、湖北省への渡航は控えていただきますようお願い申し上げます。

感染が国際的広がりを見せる中、国内の感染防止に、国の総力を結集して対応する必要があります。引き続き、状況を見極め、専門家の意見を参考に、対策に努めて参りますので、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

令和2年2月吉日 黄川田仁志

◆厚生労働省から国民の皆様へのメッセージ◆2020.2.1付

- 新型コロナウイルス感染症は、我が国において、現在、流行が認められている状況ではありません。国民の皆様におかれては、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様にお一人お一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。
- 武漢市から帰国・入国される方あるいはこれらの方と接触された方におかれましては、咳や発熱等の症状がある場合には、マスクを着用するなどし、事前に保健所へ連絡したうえで、受診していただきますよう、御協力をお願いします。また、医療機関の受診にあつては、武漢市の滞在歴があることまたは武漢市に滞在歴がある方と接触したことを事前に申し出てください。

新型コロナウイルスに関する厚生労働省コールセンター（週末や祝日を含め、毎日9時～21時まで対応）

電話番号：03-3595-2285

コロナウイルスに係る最新情報は下記関係機関HPをご覧ください！

厚生労働省: https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

厚生労働省検疫所: <https://www.forth.go.jp/topics/fragment1.html>

外務省: https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pchazardspecificinfo_2020T014.html#ad-image-0

内閣官房新型インフルエンザ等対策室: http://www.cas.go.jp/jp/influenza/novel_coronavirus.html



厚生労働省



検疫所



外務省



内閣官房



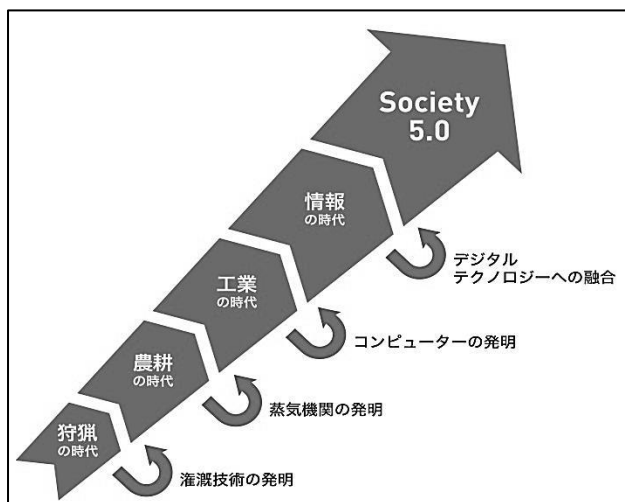
感染症予防のため、十分に栄養と睡眠を取って
抵抗力を高めておきましょう。



- 自民党では、新型コロナウイルス関連肺炎対策本部を立ち上げ、関係各省庁に対し、早急且つ適切な対応を実施するよう強く求めています。
- 東京五輪・パラリンピックを半年後に控え、今後、海外からの入国者が増えることから、インフルエンザのように新型コロナウイルスに係る感染症の罹患を判定できる簡易検査キットを製薬会社と協力して早急に開発するよう指示しています。

シリーズ: 自立と誇りある日本

Society 5.0 時代に生きる子供たちのために「GIGAスクールの実現」



Society 5.0 までの時代の変遷 (一社) 電子情報技術産業協会HPより

Society 5.0 とは、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題（少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差等）の解決を両立する「人間中心の社会」のことです。我が国が目指すべき未来社会の姿とされています。

IoT（Internet of Things）技術で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、また、人工知能（AI）の活用によって、必要な情報が必要な時に提供され、ロボットや自動走行車などの技術を用いて、社会的課題等の克服を目指しています。

Society 5.0 の社会で生き抜く能力を身につけるためには、子供の頃から、タブレット端末やパソコンを

使いこなす能力と環境が必要であり、世界各国では、そのための教育政策が積極的に進められています。我が国でも子供たちの将来の可能性を広げるために、1日も早く取り組まなければなりません。そこで、小中学生1人1台端末環境の整備に加えて、教員のICT活用指導力の向上、情報モラル教育をはじめとする情報教育の充実など、ハード・ソフトの両面からの教育改革を進めることになりました。それら一連の教育改革が達成された学校を「GIGAスクール」と名付け、今年度の国の補正予算重点政策として組み込みました。各小中高校、特別支援学校等に高速大容量のネットワーク環境（校内LAN）の整備する他、令和5年度を目途に、小中学校全学年の児童生徒1人1台のタブレット端末等の活用実現を目指します。本件について、草加市の浅井市長、越谷市の高橋市長と意見交換を実施した結果、両市は国の財政支援を活用し積極的に取り組むことになりました。

きかわだひとしとは？…自民党衆議院議員3期目。東京理科大学、米川-ラッド大学大学院修了。昭和45年生。趣味は剣道、空手、野球、落語。妻、長女と越谷市内に在住。第3次安倍改造内閣で外務大臣政務官（北米・中南米担当）。衆議院では、外務委員、法務委員、憲法審査会委員、東日本大震災復興特別委員。党では、衆院国対委員会所属、国交部会長代理、海洋総合戦略小委員会事務局局長等を務める。海洋政策が専門。